

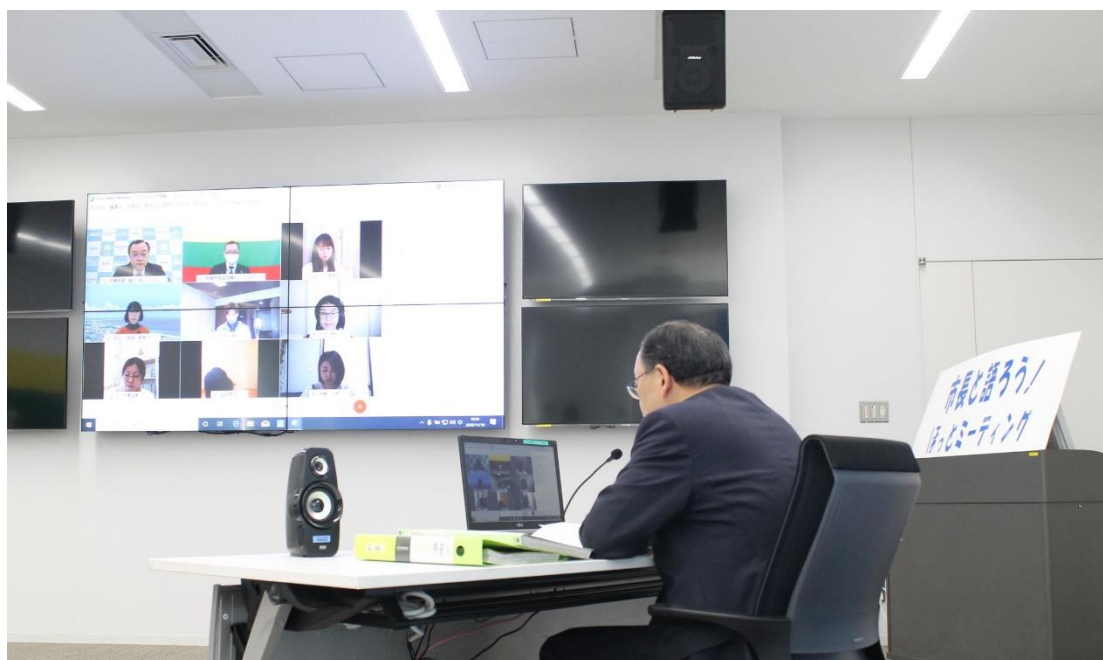
令和2年度 市民と市長の対話集会

オンライン版

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年（2020年）11月18日（水）
午前10時から午前11時30分まで
- 2 開催場所 オンライン会議
- 3 参加者 中学生以下の子を養育する保護者等 6人
- 4 テーマ コロナ禍におけるひらつかの子育て



ほっとミーティングの様子

5 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的として取り組んでいます。平成23年、市長に就任した1期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。その後も各地域に直接伺い、それぞれの地域・世代と対話させていただいています。

今回の対話集会は、初めてオンラインで、中学生以下のお子さんをお持ちの方を対象に「コロナ禍におけるひらつかの子育て」をテーマに開催します。子育て中で毎日お忙しく過ごされている方でも御自宅から参加いただけることがオンライン開催の大きなメリットではないかと考えていますので、本日は率直な御意見をいただきたいと思っています。

さて、新型コロナウイルス感染症は、市民生活全体に大きな影響を与え、皆さんも大変御不便をされているなかで、市政に御協力いただいていることに對し改めて感謝申し上げます。

これまでの平塚の発生状況ですが、大きなクラスターも発生せず重症者数も大変少ない状況です。これは市民の皆さん、事業所・施設の皆さんの安全対策のおかげであると考えています。

これからも感染拡大を抑えつつ、さまざまな視点から平塚を「もっと住みやすく」「もっと子育てしやすい」まちにしていくために、皆さんから貴重な御意見をお聞かせいただきたいと思いますので、本日はどうぞよろしくお願い致します。

6 主なミーティングの内容

【司会】

緊急事態宣言中にお子さんの心や身体の変化など感じられたことはありましたか。

【参加者】

コロナによる学校休業で子どもの生活リズムが乱れてしまったり、勉強の遅れが心配でした。平塚市のGIGAスクール構想は進んでいると聞いていますが、現在の進捗状況など教えてほしいです。

【市長】

教育環境の充実は市長に就任して以来、教育委員会と取り組んできましたが、コロナを契機としてより一層推進させることにしました。具体的には令和2年度末までに小中学生に一人1台タブレット端末を配備、各教室に65インチの大型モニターを設置、Wi-Fi環境がない家庭への環境整備の支援、また、教職員へのスキルアップ研修なども取り組んでいきます。

【参加者】

教職員への支援など人材育成はとても重要だと考えています。また大学・高校生などはITスキルも高く、地域の若い力を活用することも重要だと考えています。

【参加者】

タブレット端末が配備されれば、各学校の図書室の蔵書検索ができるようになると思います。

【司会】

要望事項として、市長にもお聞きいただきました。他にお子さんへの影響などありましたか。

【参加者】

幼稚園では行事が大幅に縮小されてしまいました。

【参加者】

毎朝の検温など登校前にやることが増えました。自粛中は時間を持て余している様子でしたが、我が家は兄弟が3人なので家庭内で遊ばせることができ、兄弟がいて助かったと思いました。小中学校でも行事の縮小などありました。

【参加者】

幼児は心の変化はあまり感じませんでしたが、屋外での活動ができなかったため、体力の低下が見られ心配になりました。

【参加者】

今中学校1年の子どもは、小学校の最後の1か月を突然の臨時休業で奪われてしまい、大きなショックを受けていました。大切な節目となる卒業式、入学式も短縮されてしまいました。

学校は休業になりましたが、働く保護者のために学童保育は開所してくれていて、大変ありがたかったです。現場の学童関係者の負担はとても大きい様子でした。また子どもたちも普段の学童生活との違いに戸惑っている様子でした。学校の校庭開放は子どものストレス軽減に役立ったと思っています。

保護者の立場として、小学校を卒業してから中学校に入学するまでの数週間どこからも情報が入らない期間が生じてしまいます。今年は臨時休業によりその期間が1か月以上に及び、不安を感じるがありました。小学校へ

の進学時なども同様に狭間が生じるため、情報連絡体制の充実は重要と考えます。

学校での預かり授業について、働く親としてはありがたかったですが利用しづらい面が多かったです。利用者が1名という学校もあったと聞いていますが、それはニーズがないのではなく、利用したくても利用できない人が多かったからと考えています。

運動会の開催可否、保護者の観覧の有無など学校による差が大きいように感じます。市全体として統一したほうが良いと感じました。

【市長】

平塚市としても対策本部を設置してこれまでに22回対策本部会議を開催しています。その中で学校の休業、学童の開所継続を決めました。当初、学校での一時預かり、校庭開放は行っていませんでしたが、子ども達への心身への影響を考慮して、感染症対策をしっかりとした上で実施することを決めました。

また、子どもたちへの教育環境として、オンラインなども便利で重要ですが、人と人とのふれあい、地域とのつながりもますます重要になってきていると考えています。このような機会を保障するため、感染症対策への支援など平塚市としても力を入れています。それが「子育てしやすいまち」につながっていくものと考えています。

【参加者】

4歳の娘は幼稚園が長期で休みになってしまい精神的に不安定になってしまいました。緊急事態宣言中、公園が利用禁止なのか自粛なのか分かりづらく、友人は少人数ならよいと思って遊んでいたら、近所の人に禁止だと怒られてしまいました。

【参加者】

メディアの情報をもとに過剰な対応を強要したりする人がいました。平塚市として正しい情報をより積極的に情報発信をしていくことで、個々の認識の差が少しでも埋まっていくのではないかと思います。

【市長】

貴重な御意見をありがとうございます。情報発信のあり方についてはまだまだ課題があると感じます。コロナの対応については、全員が初めての経験であり手探りの状態でありました。保健所を管轄する神奈川県は当初市町村名も情報を提供してくれませんでした。私からも強く申し入れたことで、市町村名まで提供してくれるようになりました。正確な情報発信にはまず情報収集が重要であるため、この点についても力を入れていきたいです。そして収集した情報を正確に分かりやすく市民に発信していくことも必要です。先

ほど公園の利用制限が分かりづらかったとの御意見をいただきましたが、一部の公園では市としても制限をさせていただきました。なぜ制限を設ける必要があるかも含めて、分かりやすく発信することが必要であると考えています。

【参加者】

娘に気管支系疾患があるので、学区の小学校は人数が多いため通学させることに不安があります。学区外の小学校への入学はできますか。

【市長】

支援が必要なお子さんには一人ひとりの個性に応じた対応が必要と考えています。そのための相談体制も整えていますので、まずは御相談いただきたいと思います。お子さんにとって一番良い選択をしていただければと思います。

【参加者】

I T関係の分野では在宅勤務が進んできているようですが、もっといろいろな分野に普及するとよいと思います。子どもが体調を崩すことが多い人でも働きやすい雇用環境があると助かります。

【参加者】

時短勤務制度を利用しづらい職種があります。フルタイムと子育てを両立することが厳しい家庭もあるので、職種に限らず希望する方が利用できる環境整備の支援が求められていると思います。

【市長】

コロナをきっかけに働き方は大きく変わってきていると感じています。平塚市としても、テレワークを導入する中小企業に対して導入費用を補助するなどの支援を行っています。また、今後の構想として、「シェアオフィス」についても研究を進めています。

ソフト面でも平塚市役所内では、管理職が「イクボス宣言」をして、育児をしている職員をサポートする体制づくりを行っています。この取組は市内事業所にも参加を促していますので、平塚が子育てしやすいまちとして認知されていくことにつながっていくものと考えています。

担当課補足

シェアオフィスについては、現在新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企業のI Tサービスの支援に置き換えて事業を実施しています。

【参加者】

臨時休業中に市内の図書館が閉まってしまいました。子どもが時間を持て余している中で残念でした。一方で博物館は色々と工夫してやってくれていました。

7 市長によるまとめ

本日は皆さんから率直な御意見を多くいただき感謝しています。いただいた貴重な御意見を参考とさせていただきながら、平塚にとって宝である子どもたちの成長を皆さんと共に支えていくための取組を今後も続けていきたいと考えています。おかげさまで平成29年には、0～4歳の転入超過数が県内1位となりました。自然の豊かさ、温暖な気候に加えて、医療体制や医療費助成制度が子育てに適した環境と評価された結果ととらえています。

コロナの終息が見通せない中ですので、感染拡大防止に取り組みつつ、「子育てするなら平塚で」といったまちづくりを進めていきたいと思えます。

本日はありがとうございました。

以 上